

# 各教育事務所の調査結果

## 天草教育事務所

- 1 教科に関する調査結果と分析
  - (1) 小学校の成果と課題
  - (2) 中学校の成果と課題
- 2 質問紙調査結果と分析
  - (1) 児童・生徒質問紙調査結果
  - (2) 学校質問紙調査
  - (3) 質問紙調査に関する分析
- 3 今後の取組の重点事項

# 1 (1) 小学校の成果と課題

## 成果

### 国語 成果が見られた内容

- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。【関連問題 B3二】
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うこと。【関連問題 A8才】

### 算数 成果が見られた内容

- 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができること。【関連問題 B1(1)】
- 1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができること。【関連問題 A1(2)】

### 理科 成果が見られた内容

- ろ過の適切な操作方法を身に付けていること。【関連問題 4(1)】
- 物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できること。【関連問題 4(3)】

## 課題

### 国語 課題が見られた内容

- 目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと。【関連問題 B2二】
- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。【関連問題 B1三】
- 目的に応じて必要な情報を捉えること。【関連問題 A3】

### 算数 課題が見られた内容

- メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できること。【関連問題 B3(1)】
- 棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができること。【関連問題 B3(2)】
- 円周率の意味について理解していること。【関連問題 A7(1)】

### 理科 課題が見られた内容

- より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察できること。【関連問題 2(3)】
- 実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述できること。【関連問題 4(4)】
- 電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できること。【関連問題 3(2)】

# 1 (2) 中学校の成果と課題

## 成果

### 国語 成果が見られた内容

- 文脈に即して漢字を正しく書くこと。【関連問題 A8-2】
- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと。【関連問題 A8三エ】
- 相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くこと。【関連問題 B3三】
- 全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話すこと。【関連問題 B2三】

### 数学 成果が見られた内容

- 見取図、投影図から空間図形を読み取ることができること。【関連問題 A5(3)】
- 長方形やひし形が平行四辺形の特別な形であることを理解していること。【関連問題 A7(2)】

### 理科 成果が見られた内容

- 実験の結果を示した表から電流の値を読み取ることができること。【関連問題 6(2)電流】
- アルミニウムは水の温度変化に関係していることについての新たな問題を見いだすことができること。【関連問題 8(3)】

## 課題

### 国語 課題が見られた内容

- 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くこと。【関連問題 B1三】
- 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くこと。【関連問題 A8四2】
- 文章の構成や展開について自分の考えをもつこと。【関連問題 B1二】

### 数学 課題が見られた内容

- 具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することができること。【関連問題 A2(4)】
- 事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができること。【関連問題 B2(2)】
- 与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができること。【関連問題 B5(1)】

### 理科 課題が見られた内容

- 植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できること。【関連問題 9(2)】
- 濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘できること。【関連問題 2(2)30%の濃度】
- 地震の揺れの強さが震度であること、S波による揺れが主要動であることの知識を身に付けていること。【関連問題 7(1)】

## 2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
主体的・対話的で深い学びの視点から	1.5年生(中学2年生)までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	80.9	76.3	76.7	71.8	70.5	73.8
	2.5年生(中学2年生)までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	63.1	59.0	61.0	47.1	46.2	53.8
	3.学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	78.8	77.3	77.7	79.9	75.7	76.3
規範意識・自己有用感等	4.自分には、よいところがあると思いますか	83.0	84.1	84.0	76.3	78.1	78.8
	5.先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	86.7	85.3	85.3	78.1	80.6	82.2
	6.将来の夢や目標を持っていますか	83.8	85.0	85.1	72.4	72.4	72.4
	7.学校のきまりを守っていますか	92.2	90.3	89.5	94.1	94.8	95.1
	8.いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.1	96.8	96.8	95.3	96.4	95.5
	9.人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.9	95.1	95.2	96.1	96.1	94.9

## 2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果②

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
学習習慣等	10.家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	67.3	64.6	67.6	50.3	47.7	52.1
	11.家で、学校の宿題をしていますか	96.6	96.4	97.1	94.0	90.7	91.6
	12.家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	62.7	61.9	62.6	61.3	50.4	55.2
	13.家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	75.0	73.2	69.9	73.7	69.7	71.3
生活習慣等	14.毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	77.1	76.5	77.0	75.0	73.6	74.2
	15.家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	78.8	78.6	80.5	76.2	76.8	76.0
地域や社会	16.今住んでいる地域の行事に参加していますか	77.1	66.0	62.7	65.5	40.7	45.6
	17.地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	52.7	50.0	49.9	37.6	36.1	38.7
	18.地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	46.6	40.1	41.6	28.9	23.0	25.5

## 2 (2) 学校質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。  
単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
改善に関する取組状況	1. 調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか(新規)	96.9	88.1	83.6	63.2	75.4	80.8
	2. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	100	97.4	93.0	94.7	95.8	92.6
	3. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国語/算数・数学共通)	96.9	87.8	84.4	57.9	68.6	73.7
カリキュラム・マネジメントに関する取組状況	4. 児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	100	97.1	94.9	94.7	94.6	93.1
	5. 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100	97.4	94.4	100	96.3	91.8
	6. 学校として業務改善に取り組んでいますか(新規)	96.9	98.5	97.4	94.7	97.6	96.8
教職員の資質能力の向上	7. 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	100	99.4	96.7	84.2	93.3	90.9
	8. 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	100	97.6	95.1	100	87.3	85.4
個別に導	9. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	28.1	42.3	35.2	36.8	42.2	28.6

## 2 (2) 学校質問紙調査結果②

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
自己規範意識 の有様	10. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童(生徒)一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか	100	100	99.0	100	98.8	97.9
家庭学習	11. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国語/算数・数学共通)	100	91.5	91.6	94.7	90.4	87.1
地域や学校 の連携	12. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか	96.9	87.8	86.2	84.2	83.7	79.8
家庭や地域との 連携	13. 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか(新規)	93.8	90.3	90.6	78.9	84.3	85.2
	14. 保護者や地域の人や学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	100	99.5	97.7	89.5	94.6	90.4
	15. 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	90.6	80.2	72.8	73.7	69.9	60.7
	16. 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	100	97.7	95.4	84.2	90.3	88.6
全国学力・学習 状況の活用	17. 平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	100	98.9	97.6	94.7	95.8	96.1
	18. 平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	100	91.9	92.3	94.7	82.5	88.5

## 2 (3) 質問紙調査に関する分析

### 【児童・生徒質問紙調査結果から】

- 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と感じている児童生徒数が県平均、全国平均を上回っていて「主他的・対話的で深い学び」の授業改善が図られていることがわかる。
- 家庭学習の習慣において、「宿題をする」、「予習・復習をする」、「教科書を使いながら自学自習をする」が高い数値を示しているが、「自分で計画を立てて」取り組む児童生徒数は県平均と全国平均の間に位置しており、主体性を高める工夫が必要である。
- 「地域の行事への参加」において、県平均、全国平均を大きく上回っているが、過疎化などの天草地域の課題も垣間見える。
- 「自分には、よいところがある」と感じる児童生徒数が県平均、全国平均を下回っており、「学校のきまり」、「いじめはいけないこと」では中学校で全国平均を下回っており、自他を大切にす教育の更なる充実が求められる。

### 【学校質問紙調査結果から】

- 全ての小中学校において、「全学調、県学調の結果を教育指導の改善等に反映」させており、「校長が週に2～3日以上授業を見て」いる。
- 「前年度までに児童生徒のよい点や可能性を評価する取組」を全ての学校が行っていると回答しているが、児童生徒の感じ方とは乖離が見られる。取組の頻度を上げたり、一人一人の児童生徒への声かけなどを、学校総体として意識して行う必要がある。
- 「授業で、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組む」ことや「家庭学習に、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与える」ことにおいて、中学校では県平均、全国平均を大きく下回っている。授業改善と併せて、授業と家庭学習の有機的なつながりを確立させる必要がある。



### 3 今後の取組の重点事項

#### 重点事項①「実質的・実用的な検証改善サイクルの実施」

- 成果をあげている学校の取組の事例を紹介し、天草管内全体で共有する。
- 二極化の防止を含めて、学力向上に向けて、少人数授業、補充指導、個別指導など個に応じた指導を学校総体として、可能な限り実施する。
- 質問紙調査の結果も含めて、課題克服に向けて、できるところから改善の具体策を実施する。

#### 重点事項②「授業改善及び主体的で効果的な家庭学習の実施」

- 「学習課題（めあて）の質の向上」から授業改善を図り、熊本型授業の質を高め、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざす。
- 「振り返り」の活動を充実させ、家庭で主体的に予習や復習をする児童生徒の育成を図る。
- 形骸化した家庭学習から脱却し、授業と関連した「思考力・判断力・表現力等」の育成等を目指した知的好奇心や探究心を育む宿題等も検討し、実施する。

#### 重点事項③「規範意識や自己有用感など自他を大切にする教育の更なる充実」

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」について、肯定的な意見の児童生徒の100%を目指し、道徳教育や人権教育等を通して、「思いやり」等の積極的指導を実施する。
- 授業における学び合い活動を通して、支持的風土を醸成する。